

科目名	看護学概論		時期		時間	単位
担当教員	非常勤講師 看護師として5年以上の実務経験を有する 専任教員		1年次	前期	30時間	1単位
科目設定理由	基礎看護学領域における看護学概論は専門分野への導入であり、各看護学の基盤となる科目である。そこで、看護学概論では看護学の基本的概念を看護の歴史や制度を踏まえて学び、看護の対象となる人間の特性と暮らしを理解する。また、日本人の健康状態、看護職の成立や看護専門職としての倫理、看護管理、医療安全、国際看護などについて広く理解する。さらに、この科目を通じて看護の初学者が看護活動を具体的にイメージするとともに、看護についての自らの考えや展望をもつことを目的に当該科目を設定した。					
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 看護の概念、看護の定義、目的が理解できる</li> <li>2 看護の対象と健康の概念について理解できる</li> <li>3 看護における倫理について学ぶ</li> <li>4 看護提供のしくみと看護活動領域を理解する</li> </ol>					
授 業 計 画						
回数	項目	内 容				備 考
1	医学概論	1 近年の医療を取り巻く状況の変化				講義
2~4	看護の概念	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 看護の本質（変遷・定義）</li> <li>2 看護の対象・目的・目標</li> <li>3 看護の継続性と連携</li> </ol>				講義
5~6	看護の対象	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 看護の対象としての人間               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)人間のこころとからだ</li> <li>(2)生涯発達しつづける存在としての人間</li> <li>(3)人間の暮らしの理解</li> </ol> </li> </ol>				講義
7~8	健康の概念と国民の健康状態・生活	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 健康のとらえ方と健康の定義</li> <li>2 国民の健康の全体像</li> <li>3 国民のライフサイクルと健康・生活</li> <li>4 現代の日本人の健康と生活を考える</li> </ol>				講義
9~10	看護の提供者	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 職業としての看護</li> <li>2 看護師の役割</li> <li>3 保健師助産師看護師の義務</li> <li>4 看護師の資格と養成にかかわる制度</li> <li>5 看護職者の就業状況と継続教育</li> </ol>				講義
11~12	看護における倫理	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 現代社会と倫理</li> <li>2 医療をめぐる倫理の歴史的経緯と看護倫理</li> <li>3 看護実践における倫理問題への取り組み</li> </ol>				講義
13	看護の提供の仕組み	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 サービスとしての看護</li> <li>2 看護サービスの提供の場</li> <li>3 看護をめぐる制度と政策</li> <li>4 看護サービスの管理</li> <li>5 医療安全と医療の質保証</li> </ol>				講義
14	広がる看護の活動領域	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 国際看護の基本理念</li> <li>2 災害時における看護</li> </ol>				講義
15	試験	まとめ				
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[1] 看護学概論		茂野 香おる 他		医学書院	
	看護職の基本的責務		手島 恵		日本看護協会出版会	
	よくわかる看護職の倫理綱領 第3版		峰村 淳子		照林社	
参考図書・資料等						

評価方法

筆記試験、課題レポート、演習、出席状況などから総合的に判断する